

第1125号 平成29年10月1日号 毎月1日発行
JAびえい・くみあいだより 丘の大地
昭和45年3月5日（第3種郵便物認可）



JAびえい

No.1125

10月号

2017

October

丘の大地

JAびえい・広報誌



丹精の願い穂波に込め

— 9/27 鹿島右文さん(横牛第1)の収穫作業から —

- 選別作業に新設備2
- 幸先良く一等米2
- FOCUS3
- 豆類実需者懇談会4~5
- 営農ホットライン6
- 情報カン9~11

グレードの高い豆類調製品づくり さらには高い付加価値可能に

今年の本町の豆類の作付面積は970畝で当該年度の振興計画目標面積より310畝少なく、暫時減少傾向となっています。ここに来て豆類の生産者価格は小豆を中心に大幅に減少し、生産費さえ賄えない状況となっていることから一気に生産者の作付け意欲が低下し、面積の減少傾向が続いています。しかしながら、畑作物は輪作を的確に維持しなければ減収や病気の発生につながり、結果的には高品質の生産の阻害要因となることから適正な輪作の確保に向け「豆類の安定作付け」が不可欠となっています。

レオソーター導入で偉力 選別スピードアップ

生産者価格の確保が最低限の基本となります。当JAでは付加価値の確保に豆類調製施設を有し、調製品の生産に努めているところです。豆類調製による商品としての「造り調製品」は人的によるものが大勢を占め高コストによる製品造りを余儀なくされていますが、市場ニーズに合った製品をいかにタイミングよく出荷するかがポイントとなっています。豆類造り調製の中で時間とコストを要する部分が色彩選別後の「手選別」の工程です。この部分が機械化されると低コスト調製が可能となり、結果的には生産者からの原料買取を高くすることができ、生産者所得を高めることと成ります。ついては当JAの調製

工場導設備設置において機械設備を本業とする「安西製作所」が「手選別」を機械化した特徴認識選別機と呼ばれるレオソーターが開発され、この度導入の運びとなり順調な操業が続いています。手選別の機械化により異物(特に石や石礫)が100割に近い状態で除去できることから製品の信頼度が飛躍的に上がりグレードと信頼性の高い調製品づくりに偉力が期待できます。



手選別を機械化した特徴認識選別機

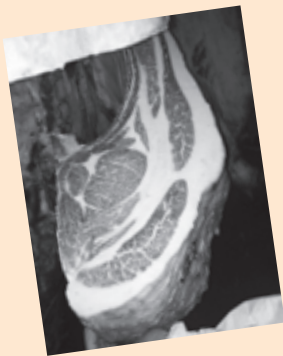
おめでとう！最優秀賞

村上雅紀さん 管内黒毛和牛枝肉例会で

上川管内で肥育されている黒毛和牛の肥育技術の向上と生産基盤に役立てる事を目的に開催の共励会が9月17日、帯広市の畜産公社で行われました。この共励会は上川生産連が毎年行っているもの。出品枝肉は、日本食肉格付協会枝肉取引規格に基づき審査されました。各地から出品された枝肉は厳正に審査され、村上雅紀さん(間宮)の出品枝肉が見事、最優秀に輝きました。最高位おめでとうございます。



最優秀賞受賞の村上さん(上)と
出品枝肉(下)



幸先良く、全量1等米

日頃、丹精を込めて作られた生産者の自信作の29年産米初検査が、当JA検査場で行われました。今年の初検査は旭地区の生産者9戸。何れも高品質米で全量1等他幸先の良いスタートとなりました。

初検査のセレモニーでは当JA浦島専務が「今年の夏作は小麦もまずまずで畑作物は平年作が期待できる。先日の台風で収穫前のデントコーンが倒伏したり、美沢地区でのハウスの被害があったが、いよいよ美瑛産の主力品目の一つが収穫期に入る。上位等級に期待をしたい」と挨拶。続いて通稲作生産部会長は「今年は作柄もよくタンパクも低い。期待ができる。これから本格作業が始まるものの作業に気を付けて頑張りましょ」と話していました。本町の水稻作付は926畝。高品質、全量1等をめざし本格作業に入ります。



幸先の良いスタートの初検査

集 点 FOCUS

頑張れ、新規就農者 道内は過去10年で最少の566人

道農政部は平成 28 年新規就農者実態調査結果を公表した。道内における昨年 1 年間（28 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで）の新規就農者数は 566 人で、27 年に比べ 23 人減（前年比 96・1％）と 2 年連続で減少。7 年ぶりに 600 人を割り込んだ 27 年（589 人）からさらに減少、新規学卒就農者数も前年を下回り、いずれも過去 10 年で最も少ない人数だった。一方、新規参入者は 3 年連続で 100 人超を維持しており、国による支援制度などが一定の効果を挙げていることがわかった。なお、美瑛町のこの年度の新規就農者は 16 名。

今回の調査結果を見ると、新規就農者数 566 人のうち新規学卒就農者数は前年から 8 人減少（前年比 95・8％）の 181 人で、雇用環境の悪化により 300 人台を確保した 22～23 年を除くと近年は減少傾向で推移しており、2 年連続で 200 人を下回った。

新規就農者の振興局ごとの地域別内訳では、十勝が前年に比べ 9 人増の 93 人、上川が同 4 人減の 86 人、空知が同 17 人減の 82 人、オホーツクが同 13 人増の 76 人と、地域で人数の増減はあるものの、上位 4 地域は変わらず全体の 6 割を占めている。一方、これまで 5 番手だった後志は同 26 人減の 30 人とどまり 7 番手に後退。日高（31 人）や宗谷（26 人）が前年から大きく伸長した。特に日高は、新規参入者が 20 人と道内で最も多く、管内 J A などの積極的な受け入れ態勢の確立や、近年需要が高まっているトマトなど施設園芸作物に魅力を感じる就農者も多いことが起因している。また、後志が 16 人、石狩と十勝が 12 人、上川と根室が 9 人、空知が 8 人と続いている。

新規参入者（117 人）はほぼ半数に当たる 54 人が野菜で、酪農が 30 人、畑作が 15 人、稲作が 7 人、果樹と肉牛が 5 人。直近 5 年間（24～28 年）の累計で見ても、野菜が 264 人と全体の半分近くを占めており、次いで酪農が 99 人、畑作が 69 人、水稻と果樹が 34 人、花きと肉牛が 15 人で、特に初期投資が少ないなどの点から、野菜が最も多い就農形態となっている。

このほか、新規参入者を年齢別で見ると、29 歳以下が 14 人、30～39 歳が 55 人と、40 歳未満が全体の 6 割を占めているものの、雇用環境が改善している影響から、近年は 30 歳未満の割合が減少傾向にある。

29 年産畑作物作付実測調査結果から 麦類とビートは減少、 豆類と馬鈴しょ増加

道農協畑作・青果対策本部は平成 29 年産畑作物の作付実測調査結果（7 月 1 日現在）を報告した。それによると、29 年産畑作物の実測面積は 31 万 1,046 ㌦で、前年調査（同）に比べ 440 ㌦増加。品目別では麦類が約 3,000 ㌦、てん菜が 1,250 ㌦前年より減少する一方、馬鈴しょは生食・加工を中心に約 500 ㌦豆類は小豆の増反によりトータルでは約 1,500 ㌦上回った。そばも約 2,500 ㌦増と大きく増えている。また、てん菜の実測面積は 5 万 8,140 ㌦で、前年に比べ 1,250 ㌦減少し、実践指標（6 万 138 ㌦）を 1,998 ㌦下回った。全道的に面積が減少しており、28 年産の厳しい作柄が影響したものとみられるが、このうち直播面積は 1 万 3,756 ㌦で前年より 550 ㌦増加。直播率は 23・7%で前年より 1・5 ㌦上昇している。

これに対し、豆類全体の実測面積は 6 万 3,223 ㌦で、前年を 1,498 ㌦上回った。内訳は、小豆が 1 万 7,084 ㌦で、前年に比べると 1759 ㌦増加。菜豆は 6,419 ㌦で前年を 1,397 ㌦下回ったが、大豆は同 817 ㌦増の 3 万 6,424 ㌦、黒大豆は同 278 ㌦増の 2,801 ㌦となった。

また、28 年産は供給不足に陥った馬鈴しょについては、生食用が 1 万 5,110 ㌦（前年比 700 ㌦増）、加工用が 1 万 4,393 ㌦（同 671 ㌦増）となり、前年より面積が増えた。

平成 29 年産全道作付指標面積ならびに作付実測面積（ha）

区 分		29 年産	
		指標面積	実測面積
麦 類	小 麦	日本めん用（秋まき）	— 83,985
		パン・中華めん用（秋まき）	— 15,470
		パン・中華めん用（春まき）	— 16,378
		種 子	— 2,444
	小 計		119,402 118,277
	大 麦		1,622 1,720
合 計		121,024	119,997
豆 類	小 豆	（うち大納言）	2,500 1,628
			20,000 17,084
	菜 豆	金 時	6,450 4,950
		手 亡	1,800 1,043
		うすら	130 92
		高級菜豆	720 334
	小 計		9,100 6,419
	えん豆		450 495
馬 鈴 しょ	大 豆		35,670 36,424
	黒大豆		3,200 2,801
	合 計		38,420 63,223
	生 食		14,904 15,110
			14,013 14,393
			22,200 14,788
			4,857 5,035
	合 計		55,974 49,326
てん菜		66,000	58,140
（うち直播）		—	13,756
そ ば		—	19,577
なたね		—	783
合 計		311,418	311,046

注）作付実測面積は J A 道中央会調べ（7 月 1 日現在）。ただしてん菜は糖業調べ。

29年産豆類の需給動向を見る

実需の声、生産地の声を豆類生産振興に活かす

平成29年度の豆類実需・生産地懇談会が9月7日十勝管内で行われました。毎年実施の懇談会ですが、ここ数年の豆類低価格受け主産地十勝を始め全道的に作付け意欲が低下、29年産小豆は指標面積20千畝に対し実作付けは17千畝と

十勝で豆類懇談会

なるなど価格低迷が作付け意欲に直接結びつく結果となっています。作付面積の増を求める実需に対し産地の意欲は比較的冷やかかなのが現実です。懇談会から今後の豆類事情について纏めてみました。

30年産小豆は2万5千畝へ作付け拡大を金時も作付増を

まず、全国和菓子協会の数光生専務理事は、和菓子業界にとって不可欠な北海道産小豆の需給動向について、28年産の不作に伴う繰り越し在庫の減少で、現状の生産規模では作柄次第で供給不足となることが懸念される。次年度は「2万5千畝の作付けがないと間に合わない」と指摘。今後は原料原産地表示義務化への対応も求められるとし、「全道3万畝」を視野に入れたさらなる生産基盤の強化を呼び掛けました。

最初の話題提供で、農水省政策統括官付穀物課の洲上武士課長補佐は豆をめぐる情勢として、雑豆を中心とした豆類の生産動向と価格推移について報告。それによると、小豆は平成24年からの豊作で繰り越し在庫が積み上がった

ていたため、昨年までは価格が下落傾向にあり、輸入品との価格差も縮小していたものの、28年産の不作で価格が回復。関税割当制度による輸入量も国内の在庫が潤沢だったことから近年は減少傾向で27、28年度は2万トを下回っていたものの、「在庫が適正化した」との認識を示し、29年度は昨年10月と今年4月で計2万27百トが輸入されており、3年ぶりに輸入量を拡大したことを報告。また、いんげんの価格は近年安定してきましたが、28年産は金時の生産量が対前年比8割減と記録的な不作となったため価格が大きく上昇している一方、生産者間では金時の作付けを敬遠する動きもあり、29年産の作付面積は前年を下回っていることに懸念を示し、「29年度は在庫があつたため需給にそれほど大きな影響は出ていないが、あまり面積が減って

しまつと需要に対して国産がショートする心配がある。生産者の皆さんにはできればもう少し面積を増やしていただきたい」と呼び掛けました。

併せて、大枠合意となった日EU・EPAの影響に関しては「小豆やいんげんについては、従来の関税割当制度を維持することができたのがかなり大きい。枠内税率は即時撤廃となるが、EUからの輸入は実質的にはなく、これによる影響はあまりないのではないか」との見方を示しました。

表示義務化で需要拡大、輸入加糖あんは減少

続いて「原料原産地表示がもたらすもの」をテーマに、加工食品における原料原産地表示義務化の影響について講演した数専務は「何が一番のポイントかというと、国内産の原材料を使つたものが消費者にとつてどれほどインセンティブ（意欲）として働くかだろう。アンケート調査をみると、国産品のものを選びたいという意向は明らかに強い。特に、和菓子のような嗜好品はおいしいことが大前提であり、より強く働くのではないかと述べる一方、現在検討されている原料原産地表示については、可能性表示や大括（くく）り表示などの特例があるためわかりにくいとの指摘があるものの、和菓子をはじめ製あん、甘納豆など雑豆製品に関しては①国内で製造または加工され

た全ての加工食品について、原則として重量順第1位の原材料の国名を表示する。なお、事業者が自主的に重量割合2位以降の原材料についても原料原産地表示を行うことができる②対象原材料が中間加工原材料（生あん・加糖あんなど）の場合は、その原材料の製造地を表示する（国内製造、中国製造など）。ただし、国内製の中間加工原材料は原料の産地までさかのぼって産地（北海道産など）を表示することができる③の2点をポイントとして挙げ、「複雑になる要素は極めて少ない」と指摘しました。

和菓子を例にとると、一般的に自家製あんの場合は重量第1位が砂糖、第2位が小豆あるいは手亡となることから、国産原材料を使用している場合は「第2位の原産地表示が増える」との見方を示すとともに、中間加工原材料の場合も、それが国内製造でかつ国産の原材料を使用していれば「小豆生あん（小豆・北海道産）」などの表示が可能になる（生あんは水分を含むため重量第1位）ことから、国産原材料を使用する事業者間で原産地表示を拡大する動きが強まれば、必然的に消費者は「国内製造」「外国産原材料を使用しているもの」と認識するようになる主張しました。

その上で、今後は輸入小豆から北海道産小豆への切り替えをはじめ、生あ

んを仕入れているメーカーでは原材料に北海道産小豆を指定するケース、あるいは輸入加糖あんから輸入小豆を使用した国内製あんへの切り替えなどが進むとの見方を披露し、いずれにしても「北海道産小豆は大幅な増産体制をつくらなければ供給不足となることは明らかであり、作付面積の拡大は喫緊の課題」との認識を示しました。

なお、和菓子業界に関してはすでに北海道産小豆を使用しているメーカーが多いため大きな影響はないとみられるものの、特に輸入加糖あんに関しては現在輸入されている約7万トのうち20%程度（1万4千ト）が国内製造に移行する可能性があり、それに伴って原料となる輸入小豆の使用量も増えるとの見方を示しました。

29年産小豆は平年作で需給均衡も在庫は払底

同時に、数専務は北海道産小豆の現在の供給力について「28年産は1万62百鈴で単収2・8俵、商品化約44万俵、繰り越しが98万俵もあったから、供給力は140万俵となって、不作だったが相場はやや高いという状況でとまっております、大きな問題にはなっていないが、この不作によって統計上の繰り越し在庫は事実上45〜46万俵に減るだろう。このうちおおむね25〜30万俵は市中に分散されている推定在庫であり、そう考えると、現段階で

産地の供給余力としての繰り越し在庫はあっても15〜20万俵程度で、ほとんどないと考えなければならぬ」と指摘し、「29年産は作付面積2万鈴を期待していたものの、1万84百鈴にとどまった。仮に平年作を維持することができたとしても収穫量は80万俵程度。このところ北海道産の小豆は毎年95万俵が使われており、すでに15万俵少ない。今年は繰り越し在庫の折り合いがつくので、何とか昨年の消費実績とほぼ同じぐらいの供給力があると考えたいが、これも本年の小豆の作柄がこのまま順調に進んだ場合であり、台風など来なければいいと祈るような気持ちでいる」と述べ、需給状況がきわめてタイトになりつつあることを強調しました。

「今年80万俵商品化でき、95万俵消費したとすると、ほとんど在庫はないという状態で来年はどうなるのか。（10a当たり）4俵で140万俵とすると2万5千鈴の作付けがなければ間に合わない。25〜26年はこれを上回る作付けがあったわけだが、昨今は大豆の作付けが大幅に増えており、一度減らした面積を増やすのは容易なことではないと感じている」との認識を示しました。

北海道はニーズに応える責務があるー数専務

併せて、原料原産地表示義務化の影響

準求める声

こうした実需側からの要請に対し、意見交換の場に参加した生産者サイドの関係者からは、急激な面積増には慎重な意見もある一方で、原料原産地表示の義務化は産地にとっても追い風であり、供給責任を果たしていく上で互いに再生産可能な価格水準が重要とする声が上がりました。JA十勝高島の代表理事組合長は「安定供給の責任があることは十分自覚しているものの、輪作を基本に考えながら作付けすることが重要であり、全道で小豆を3万鈴つくるとなると、なかなかすぐには厳しいのではないかと。実際に27年までは豊作基調の中で在庫が2年分近くもあり、われわれが3万鈴作付けしたときに価格がどうなるかという問題もある。お互いウィンウィンになるような適正な価格がどこにあるのかということも皆さんに理解していただかなければならない。ただし、原産地表示はわれわれ生産者にとっても画期的であり、北海道にとっては大きな力になると思う」と指摘。

今回の懇談会では実需と産地との間で作付けに対する「温度差があった」ものの、価格水準が課題である一方、原産地表示などで追い風が来ているのは事実です。

響については、経過措置期間である34年3月よりも前倒しで動きが出てくる可能性が高いとし、「輸入小豆を原料とした国内製あんがどれぐらい北海道産にシフトし、加糖あんがどれぐらい国内産や北海道産にシフトするのか。これらは消費動向をどう考えるかにもかかわるため難しい面はあるが、中国産や中国製造に対する忌避感情が国民の間に根強く存在している事を考えると、相当の影響があるのではないかと見ていい。その場いづつのように具体的に影響が表れてくるかという点年まではそう顕著ではないと思うが、新しく決められる『食品表示基準』の経過措置期間が終わる32年3月末にかけて目に見えた変化が出てくると思う。その場合、30年の作付けは2万5千鈴必要と言っているわけだが、さらに、これによって国産農産物の需要拡大を果たしたいという考えが根底にあったのは明らかであり、それは北海道も同じだ。それが現実のものになった以上、逆に生産者は北海道産の豆を使いたいというニーズに応える責務があると考えていただかなければならない。この原料原産地表示の問題を考える上では、供給責任といたことともう一度真剣に向き合ってもらうことが重要。同時に、われわれ実需側もいつものを一考する必要がある」と問題提起しました。

産地側からは再生産可能な価格水準

生産技術情報

営農ホットライン

H O T L I N E

10月の農作業安全と今後の技術対策

3◆豆類

1) 青立ち

着莢数が少ない場合には青立ち傾向となり、子実水分は低いのに茎葉の青さが目立つ場合があります。場合によっては、茎水分が40%以上と高めでも、やむを得ず収穫するときもあります。

2) 小粒傾向

小豆では小粒傾向の畑も多いようです。脱穀時の風量調節等に留意してください。

4◆馬鈴しょ

早朝の低温時(10℃以下)の機械収穫は、打撲による皮下黒変を生じやすい。

5◆施設野菜

糖分転流などの植物生理活性を高めるためには、夕方・夜間前半の温度確保も重要です。一方、過湿・結露になると、灰色かび病が多発しやすくなるので注意が必要です。

6◆生産履歴と情報集積

収穫後には、生産履歴記帳と併せて、翌年生産に向けた情報集積が肝要です(表1参照)。

表1 収穫後の技術的対策(抜粋)

項 目	内 容
土壌分析診断	①生育不良部分の土壌分析 ②3年に1回程度の定期的な土壌分析 ③土壌改良のための土壌分析
生育不良部分の記録	一筆内の生育不良部分を点検し、次のような原因解明の参考にする (①連作土壌病害虫の発見と対処 ②土壌養分不足 ③湿害・耕盤層などの物理的障害 ④生育の概要(草丈、葉色、葉枯れなど))
収量構成要素の記録	作物の主な収量構成要素を記録し、多収・良質の参考にする。 ①単収 ②千粒重・百粒重 ③品質(タンパク、糖分) ④生育状況(倒伏など)
農 薬	1) 防除関係実績の点検 (①同一薬剤連用の有無 ②薬量・濃度・水量の適否) 2) 在庫農薬の登録変更等の点検
肥 料	施肥内容と生育・収量を照らし合わせて、施肥改善・増収・品質に役立てる。 ①成分バランスと量 ②副成分 ③肥料成分形態(硝酸態、アンモニア態、水溶性、 く溶性など) ④収穫後土壌養分残量

当面は、収穫作業が中心となります。農作業安全を第一としてください。収穫後は、次年度に向けての情報集積が要点の一つとなります。

具体的な情報は、生産部会から示されるので、この資料では、作業の基本的意義・盲点となりやすい事項を列記します。

1◆水田の溝切り

収穫後の溝切りの効果の一つとして、乾土効果があります。秋季が乾土状態で、翌春も乾土の場合、地力チッソの発現が見込めます。

2◆秋まき小麦

1) 排水対策

畑の過湿は、越冬前の小麦生育が不良となります。また、翌春の雪腐病被害増加の一因となります。溝切りなどの排水対策・透水対策をしてください。

2) 雪腐病防除

防除時期は、根雪に近い方が望ましいですが、残効性の高い薬剤では、やや早期の防除が可能です。防除時期を逸しないようにしてください。

3) 越冬株数・越冬茎数・越冬時葉数

次の点検が望ましいです。①計画した出芽株数になっているか。 ②越冬茎数が、標準の1,000本/㎡に達しているか。 ③越冬時の主茎葉数が5葉以上になっているか。

4) 遅まき対策

冷涼時の施肥リン酸不足は、初期生育不良要因の一つとなります。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

「1万ダウンロード突破」

JAグループ北海道が取り組む「サポーターづくり」の一環として制作した、スマートフォンアプリ「JA2MP（ジェイエイジャンプ）」のダウンロード開始から約1年が経過しました。

各地でのPR活動を通じて皆さまにダウンロードして頂いた結果として、平成29年8月に、1万ダウンロードを突破しました。

今後も、魅力ある新鮮かつタイムリーな農畜産物情報を発信するため、アプリのコンテンツの充実と消費者の皆さまへのPRに取り組んで参ります。



JA北海道信連

JAバンクでは、青少年の育成支援とスポーツ応援を目的として、平成21年度より全日本大学駅伝対校選手権大会へ特別協賛を行っております。

8月に札幌市のモエリ沼公園で行われた北海道地区予選会には、地元JA・本会・農林中央金庫の職員が大会のサポート役として参加し、道産食材を使用した「おにぎり」「飲むヨーグルト」及び「JAバンクオリジナルタオル」を選手達へ差入れしました。



ホクレン



↑訓子府実証農場 HPはこちら



ホクレン訓子府実証農場（訓子府町）では、来年4月から1年間、農場での酪農研修を通じて就業に必要な知識や技能を習得する「平成30年度酪農研修生」を募集しています。研修は乳牛飼養管理、搾乳、子牛哺乳育成、自給飼料栽培管理などの実践研修を中心に、酪農畜産に関する基礎知識を習得するための座学研修も実施します。詳しい内容については、ホクレン訓子府実証農場業務課（☎0157・47・2191 担当佐々木）まで。

JA共済連北海道

秋の全国交通安全運動（9月21日～）にあわせて、道警・交通安全協会と連携し、道内各地で本会職員による街頭啓発活動を展開します。交通安全旗や横断幕を掲げてドライバーと歩行者へ安全運転や交通ルールの遵守を呼びかけます。（札幌地区は9月29日実施予定）

JA共済連北海道は交通安全啓発活動を通じて安心して暮らせる地域づくりに役職員一同取り組んでまいります。



↑昨年度実施の様子



JA北海道厚生連



旭川厚生病院では「土曜ドック」を実施しています。男性を対象としており、各種オプション検査も可能です。随時予約を受け付けております。（☎0166・33・7171）

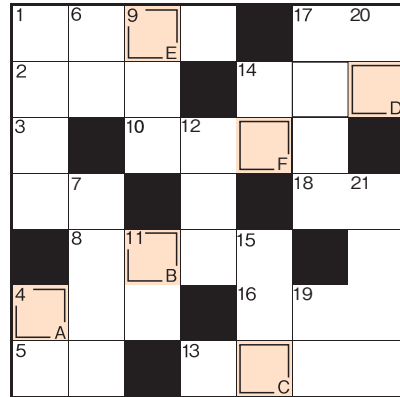
札幌厚生病院では毎月第2土曜日に「脾臓・胆のうドック」を実施しております。（☎011・251・5713）

また、帯広厚生病院では、オプション検査の「脳ドック」を毎月第2土曜日に実施しております。（☎0155・24・4161）いずれも完全予約制。

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



■ミミのカギ

- ①ギンナンがなる木
- ②分け合うこと。ルーム——
- ③東を向いたときに左手にある方向
- ④平均より体格がコンパクト
- ⑤目玉焼きの目玉になります
- ⑧——に簡単な問題を解いた
- ⑩自転車を使って行う公営競技
- ⑬生まれ育った土地のこと
- ⑭運命の赤い糸が結ばれているかも
- ⑯後醍醐天皇は鎌倉幕府の——をもくろみました
- ⑰海外旅行で睡眠不足になる一因
- ⑱漢数字の大字だと、1は「壹」、3は「参」、——は「陸」

▼タテのカギ

- ①きのこの軸の一番下の部分
- ④数え年70歳の祝い
- ⑥三人寄れば文殊(もんじゅ)の——
- ⑦雄ライオンの顔の周りに生えます
- ⑨東の空が白んできます
- ⑪怒ったときは立て、覚悟したときはくります
- ⑫自宅へと帰る道のこと
- ⑭たたいたりもんだりしてほぐすことも
- ⑮五輪では3位までに入るとも入らえます
- ⑰美術館の中を——に従って進んだ
- ⑱坂本龍馬の出身藩
- ⑳古びた古きに生じることも
- ㉑あることに熟練した人のこと

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

●ハガキ

うら

- ①クイズの答え
- ②今月号の良かった内容
- ③取り上げて欲しい内容
- ④その他ご意見・感想など
- ⑤住所氏名年齢電話番号

おもて

〒071-0298
美瑛町
中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

●FAX 0166-92-2977

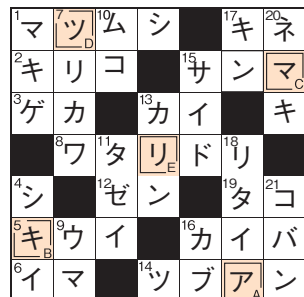
●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

こたえ・当選者

☆先月号のこたえは『アキマツリ』でした



☆当選者は

佐藤 淳子さん
松村 亜美さん
勢 好江さん
寺林 律子さん
村上 久子さん
村 上久子さん

以上5名です。
おめでとございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

10月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】それなりに勢いはあるものの、小さな失敗で落ち込みやすいよう。開き直りの気持ちも大切。まめに気分転換を

【健康運】食べ過ぎに注意。胃腸のケアを忘れずに
【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】神経質になりやすい月。重箱の隅をつつくような発想はやめて、どっしり構えましょう。クラシック音楽につき

【健康運】安定期です。スポーツを始めると刺激大
【幸運を呼ぶ食べ物】エノキタケ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】イベントや祭りなど、にぎやかな行事を満喫するのに最適です。文化祭やコンサートにも気軽に足を運ぶと幸運が

【健康運】ストレス発散が大事。体調に好変化あり
【幸運を呼ぶ食べ物】栗

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】何かと感情的になりやすい時期。特に身近な人とつまらない口論をしがちなので、悪いと思ったら、すぐ謝って

【健康運】まずまず。話題の健康法を試すとグット
【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】性格の良い面がアピールされ、円満な人間関係が築けそう。初対面の相手にも気さくに話し掛けて。旅行も吉

【健康運】運動不足になりがち。しっかり動くこと
【幸運を呼ぶ食べ物】小豆

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】やるべき作業を真っ先に済ませたら、後は自分の時間を楽しんで。新しい趣味を持つとうれしい発見がありそう

【健康運】疲労が蓄積気味。適度に解消しましょう
【幸運を呼ぶ食べ物】カツオ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】自己アピールに最適です。温めていたプランがあるなら、オープンにすると◎。素晴らしい協力者が現れる予感

【健康運】不規則な生活の改善を。好転の呼び水に
【幸運を呼ぶ食べ物】サツマイモ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】緑の下の方力持ち的な役割を任せられることが多い時期。とはいえ、サービス精神を発揮すれば確実に信頼アップへ

【健康運】ストレッチや体操が好調キープの秘訣に
【幸運を呼ぶ食べ物】ごま

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】知的好奇心を刺激され、いろいろとやってみたくなるはず。カルチャーセンターなどに足を運んでみるのが正解

【健康運】不安定。運動前には念入りに準備運動を
【幸運を呼ぶ食べ物】ユズ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】責任のある立場を任せられるなど、重圧を感じやすいかも。肩の力を抜いた方が好結果に。気晴らしには散歩が有効

【健康運】体力増強を目指して。健康に近づけそう
【幸運を呼ぶ食べ物】ポラ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】とても前向きになれる。攻めの姿勢をモットーに思う通り行動することで、順調に物事が進展するでしょう

【健康運】日々、身軽に動けば体調改善に効果あり
【幸運を呼ぶ食べ物】シメジ

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】やたらと不安になり、心配しやすいようでしょう。マイナス方向に考えず、いい面を探ること。開運には花を飾って

【健康運】健康法に凝り過ぎる暗示。ほどほどがベスト
【幸運を呼ぶ食べ物】リンゴ

不用農機、部品等 廃棄処分いたします

研修センターでは、農業機械、部品等廃棄物回収処分を行います。不用になった農機具、農機部品、その他ペール缶、空ドラム缶等の回収処分を下記の日程で行います。

受付期間 平成29年10月23日（月）～
27日（金）まで
（受付時間 午前8：30～午後5：00）

回収場所 研修センター横指定地

回収方法 各自持ち込みとし、担当者が立会い確認致しますので必ず事務所にお立ち寄り下さい。また、集荷を希望される方は運賃別途にて回収致します。廃棄処分料金は一部有料となります。

※ 廃タイヤのお引受はできません。

ご不明な点、または詳しい内容に付きましては研修センターまでお問い合わせ下さい。

窓口 研修センター ☎ 92-0588

JA Biei Information



来春のために農機具の 整備を忘れずに！！

研修センターでは、来春にむけ農機具の格納修理受付と牧草用トワイン、ラップフィルムの取りまとめを行います。

職員が各組合員宅を推進にお伺い致しますのでこの機会にぜひお申し込み下さい。

なお、お申し込みは、別紙折込みの申込書でも受付致しておりますのでお早めにFAXでお申し込み下さい。

詳しくは研修センターまでお問い合わせ下さい。

窓口 研修センター ☎ 92-0588 FAX92-3914

アルーダ感謝フェア&自動車大商談会

ホクレン油機サービスでは、10月20日（金）・21日（土）の2日間「自動車大商談会」を開催いたします。上川管内の中古農機・自動車が大集合するこの機会をお見逃しなく！

日時 10月20日（金）9：00～15：00
21日（土）9：00～16：00
※21日は自動車展示会のみ開催

場所 (株)ホクレン油機サービス旭川支店 内
農機＝アルーダ旭川常設展示場
自動車＝自動車展示場
(旭川市永山2条13丁目1番28号)

窓口 研修センター ☎ 92-0588

アルーダ感謝フェア
&
上川管内中央部農協
自動車大商談会

同時開催決定！

【日時】 10月20日（金）9：00～15：00
21日（土）9：00～16：00
※21日は自動車展示会のみ開催

【場所】 (株)ホクレン油機サービス旭川支店 内
農機＝アルーダ旭川常設展示場
自動車＝自動車展示場
(旭川市永山2条13丁目1番28号)

中古農機・自動車を検討の方は要チェック!!
中古農機情報は、開催直前に下記のホームページに掲載されます！
また、内容は随時更新しております。
掲載場所＝ホームページ掲載後、実店舗で車＝上川のアルーダ旭川の
右に出でくる農機一帯をワック1！

皆様のご来場お待ちしております！

FARM LAND からお知らせ

■営業時間の変更

10月～2月 平日 8:30～17:00
土曜日 8:30～12:00
日祝祭日 休み

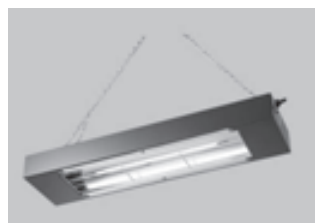
ファームランド
FARM LAND JAびえい店

☎ 92-3455 FAX92-3488

窓口

FARM LAND からお知らせ

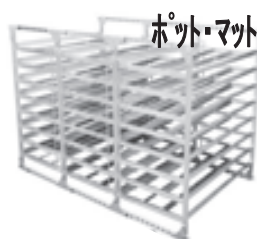
パナソニック カーボンヒーター



ハッチの暖房に 育成
牛舎に 弱った牛に
これからの季節
必需品です
定格 100V-600W
発熱体 カarbonヒーター 1灯式
切替スイッチ 強 600W 弱 300W

定価 オープン **16,800 円 (税別)**

アルミ水平育苗棚
数量限定！最終S A L E !!



ポット・マット両方使用出来ます!!

在庫品限り！数量限定！の特別価格です。
来年の予約分は通常価格でのご案内となります。
今年10月末までに納品させていただいた方限定の価格です。

80 枚用 SH-80N (10 段)
(幅) 1270 (長さ) 1360 (高さ) 1480
通常価格 60,000 円 (税別) のところ
今回特別価格 **52,000 円 (税別)**

96 枚用 SH-96N (8 段)
(幅) 1270 (長さ) 2000 (高さ) 1230
通常価格 70,000 円 (税別) のところ
今回特別価格 **59,000 円 (税別)**

ファームランド
FARM LAND JAびえい店

☎ 92-3455 FAX92-3488

窓口

3年連続日誌「我が家の記録」 ご予約お待ちしております

2018～2020 年版の3年連続日誌「我が家の記録」の予約が始まりました。今お申込みいただくと特別価格でご提供！お問い合わせ・お申込みは営農部までお願いします。

申込期日：10月31日 (火) まで

窓口

営農部 ☎ 68-7014 FAX92-2644

秋のオイル・タイヤキャンペーン！

アロックびえいでは、下記の内容にてオイル・タイヤキャンペーンを実施いたします。
ぜひこの機会のご利用をオススメします！

- 期間 : 10月1日 (日) ～11月30日 (木)
場所 : ホクレン美瑛北町給油所
オートサービスセンター
内容 : ①オイル交換でBOXティッシュ5箱プレゼント！
さらに、ウォッシャー液補充無料です。
②タイヤ予約・購入 (新品・4本セット) で
BOXティッシュ10箱プレゼント！
さらに、組換・バランス工賃等無料です。



窓口

北町給油所 ☎ 92-2157 オートサービスセンター ☎ 92-2156

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 810円

効力発生年月日 平成**29年10月1日**

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料・乳製品・糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」）で働く労働者には北海道の特定の（産業別）最低賃金が適用されます。

厚生労働省 北海道労働局
労働基準監督署（支署）

「家の光」12月号は W(ダブル)付録！

営農部では、別冊付録がついた『家の光』のとりまとめを行っています。12月号付録は「家計簿（日記付き）」と家の光エンディングノート「わたしノート」、1月号付録は「旬の野菜を使った健康レシピ&相続講座」です。

申込み希望の方は、営農部までご連絡ください。なお女性部員の皆さんは、各地区長さんに取りまとめをお願いしています。

申込方法 電話またはFAXで営農部へお申し込みください（女性部員を除く）

申込期日 10月11日（水）まで。お早めに！

12月号配本 組合員宅一日一斉訪問にてお届けいたします。

その他 12月号は11月経理となります。



窓口

営農部 ☎ 68-7014 FAX92-2644

秋の健診のお知らせ

日程 11月13日（月）～17日（金）・20日（月）

会場 美瑛町保健センター（南町1丁目）

対象者 30歳～74歳の町民の方（20歳代の方は特定健診のみ受診できます）

検診項目

1. 特定健診（身体・腹囲計測、血圧測定、血液検査、心電図、医師診察等）
2. 胃がん検診（胃部バリウム検査）
3. 肺がん検診（胸部エックス線検査）
4. 大腸がん検診（便潜血検査）
5. 前立腺がん検診（血液検査）



申込締切 10月24日（月）まで

申込方法 お電話・FAXまたはグリーンセンター共済窓口（保健センターでも受付可能）
※別紙折込の申込書で受付いたしております。

農協クミカン・貯金引き落としは利用できませんので、当日は現金をお持ちください。

窓口

共済課共済係 ☎ 68-7017

美瑛町保健センター ☎ 92-7000

理事会のほうこく

第30回理事会 8月31日(木)

■議案審議事項

議案第1号 規程の廃止について
・原案どおり承認されました。

■協議事項

①平成29年度農畜産物系統全量集出荷推進期間の設定について



よろしくね! 美瑛の逸品

美瑛産米でアルファ米発売

美瑛町で生産された高品質のお米は「ビエイティフル」として認定され自信をもって全国各地に販売されています。美瑛産米の付加価値づくりに取り組むマーケティングの過程から今、関心の「アルファ米」と呼ばれる長期保存用原料米に美瑛産がすでに使用され、非常食や災害対策用の食料の他、特殊用途として宇宙食や南局観測隊、登山家の食料としても使用されています。アルファ米を製品化

ドライカレー、五目ごはんで商品化された「びえい丘のめし」

しているのはこの分野ではトップメーカーの「尾西食品」で本社は東京都。工場は宮城県大崎市の宮城工場です。この製品は、お米を美味しく炊き上げた後、乾燥させてアルファ米に加工したものです。お湯か水を注ぐだけで、煮炊きしなくても美味しく出来上がる不思議なごはんです。当JAでは美瑛町内販売用にプライベートブランド商品として「五目ごはん」「ドライカレー」の2種類を製品化しました。パッケージは美瑛ののどかな風景をイラスト化し名付けて「びえい丘のめし」内容量は260gですが出来上がりはお茶碗軽く2杯となっています。価格は税込み450円です。美瑛産果他で販売しています。どうぞご賞味ください。

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(9月20日現在)

発生件数	1件(9件)	《14件》
負傷	1人(9人)	《14人》
死亡	0人(0人)	《0人》

()は29年度累計 《 》は昨年同期累計
※負傷者数は農業労災加入者統計より

協同のちから



◇貯金高	263億40百万円	◇組合員数	正組合員 730人
◇貸付高	79億70百万円		准組合員 1,901人
◇出資金	11億28百万円		
◇固定資産	44億03百万円		

※百万円未満四捨五入
(平成29年8月末)

こよみ

10月の主な行事予定

7日(土)	美瑛選果10周年美瑛マルシェ (～9日まで)
9日(月)	体育の日
14日(土)	酪育ミルクアカデミー

編集後記

■安倍首相は「伝家の宝刀」を大上段に振りかざし衆議院を解散した。昨年の農協法改正に続き今年もまた日本農業を揺るがすEUとのEPAも大幅合意。10月22日に衆議院議員選挙が行われるが今、北海道農業が果たす役割を直接行動で示すことができるチャンスが到来した。わが国の農業は危機的な状況だ。1965年に全国で600万畝あった耕地面積は、2015年には450万畝へと、150万畝も減少した。また、65年には全国で1151万人いた農業就業人口は、15年には210万人へと、5分の1以下の人数に激減。わが国の農業は、急速なスピードで縮小を続けており、このままでは存亡の危機に陥るといっても過言ではない。その結果、日本のカロリーベースの食料自給率は39%と著しく低い水準に。国民と国を守る安全保障の観点から、危険な状態だ。守ることは、決して農業従事者の利益だけが目的ではない。安全かつ新鮮な食べ物を求める全国の消費者・生活者にとって極めて重要なことだと訴えたい。

